

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

| | | |
|------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 施設名 | 相模湖公園 | 相模湖漕艇場 |
| 所在地 | 相模原市緑区与瀬 | 相模原市緑区与瀬340番地 |
| サイトURL | http://www.sagamiko.info/ | http://kra.or.jp/ |
| 根拠条例 | 神奈川県都市公園条例 | 神奈川県立相模湖漕艇場条例 |
| 設置目的(設置時期) | 公共の福祉の増進 (昭和33年11月) | ボートの競技等を通じて県民のスポーツの振興を図るため(S38年) |
| 指定管理者名 | 相模湖観光協会・神奈川県ボート協会グループ | |
| 指定期間 | R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年) | |
| 施設所管課 | 都市公園課 (厚木土木事務所津久井治水センター) | スポーツ課 |

2. 総合的な評価

| |
|---|
| <p>総合的な評価の理由と今後の対応</p> <p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>(一体としてのコメント) 相模湖公園と相模湖漕艇場を一体的に管理運営を行うことで、漕艇場職員の協力を得て、公園のイベントを円滑に実施したほか、駐車場など公園施設を使用することで、相模湖でボート・カヌー競技の大会を柔軟に運営したなど、一定の効果がみられる。 今後も、相模湖公園と相模湖漕艇場の更なる連携を期待する。</p> <p>■相模湖公園について 利用状況の評価はC、利用者の満足度はA、収支状況の評価はAで、3項目評価はBとなった。 利用状況について、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大規模イベントが中止となったことなどの影響が大きく、利用者数は、目標値に対して56.1%と大幅な減となり、C評価となった。 なお、上記3項目以外について、利用者のマナーに関する苦情が2件あったが、県や地元と調整しながらその後の対応を行った。また、事故が1件も発生しておらず、適切に管理運営が行われていたことは評価できる。 引き続き、利用者の満足度の維持、及び利用者の安全に配慮した管理運営に努めるほか、新型コロナウイルスの感染が収束した後には、イベントの開催などを通じて、地域活性化に寄与する取組みを行ってほしい。</p> <p>■相模湖漕艇場について 新型コロナウイルス感染症対策の影響により利用状況がC評価となったものの、提案に基づく指定管理業務を着実に実施した。老朽化した施設の修繕に努め、ボート体験教室の開催や各大会及びイベントへの協力を通して地域振興を図り、幅広い層の利用者のニーズに寄り添った対応を行うなど、利用者に対するサービスの向上策に努めた。その結果、利用者の満足度の評価結果がS評価、収支状況の評価結果がS評価となったことから、令和4年度の3項目評価についてはB評価とした。 今後も、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、引き続き、相模湖公園との円滑な連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>■相模湖公園について</p> <p>◆管理運営等の状況 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大規模イベントを中止せざるを得ない状況であったが、感染状況を見ながら一部のイベントを規模を縮小して再開するなど、利用促進に努めた。維持管理業務においては、園内清掃を入念に行うほか、地下駐車場の外壁タイルの老朽化が進んでいることから、昨年度までに引き続き、利用者の安全性の確保、及び美観上の観点から、積極的に修繕工事を実施するなど、良好な実績を上げた。</p> <p>◆利用状況 今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、相模湖やまなみ祭、さがみ湖湖上祭花火大会などの大規模イベントが開催できなかったことに加え、感染状況が落ち着いてきたことから、これまで旅行を控えてきた観光客が遠出をすることで、公園の利用者数が減少したものとみられ、利用者数は前年度との比較で82.5%、目標値に対しては56.1%に留まり、C評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 指定管理者により年間2回の調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が82.4%であったことから、A評価となった。</p> <p>◆収支状況 来園者数は目標数値を大幅に下回ったものの、イベント以外の通常時の利用者数は、前年度と比較して大きな減少ではなかったため、駐車場収入は当初計画額より316千円増となった。また、支出は原油価格高騰に伴い電気代等が高騰したものの、概ね計画どおりであり、収支差額は592千円、収支比率は101.1%と良好な実績をあげて、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 湖での釣りに関するマナーへの苦情が2件あったが、当面は公園職員が巡視を行う際に声掛けするなどの対応を行い、様子を見ていくこととしたい。</p> |
|---|

◆事故・不祥事等
作業上の安全に配慮した結果、指定管理業務に関連した事故は1件も発生しなかった。

◆労働環境の確保に係る取組状況
県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、良好な労働環境の確保に取り組んでおり、極めて良好な実績を上げた。

◆その他
令和4年度の3項目評価については、B評価とした。今後も引き続き、利用者の満足度の維持に努めるほか、新型コロナウイルスの感染が収束した後は、相模湖漕艇場と連携したイベントを拡充するなど、地域活性化に資する取組を更に充実させるよう努めてもらいたい。

■相模湖漕艇場について

◆管理運営等の状況
提案に基づき指定管理業務を着実に実施した。施設運営については、高校生の年間利用を事前に把握し、一般利用者等との円滑な調整を行い、各大会に向けた合宿等への全面的な協力や、障がい者やシニア層のボート競技への受入れ体制の充実など幅広い利用者へのサービス向上に努めた。維持管理業務については、施設の老朽化が著しい中でも、県有艇の整備や小規模修繕等を行い、快適なサービスを提供することができた。

◆利用状況
年々シニア層の利用者や個人での利用が増加している。更なる利用促進に向けて、中学生を対象としたボート体験教室や、障がい者向け乗艇体験会を実施した。利用者数については目標値を20,000人として、幅広いニーズをもつ利用者層へのサービスの向上を行ったが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う人数制限等による影響から12,948人となり、達成率が64.7%に留まったためC評価となった。

◆利用者の満足度
7・10月に実施し、上位2段階の回答割合が97%となったためS評価となった。前年度に引き続き、指定管理者の努力により高い満足度を維持することができた。

◆収支状況
ボート利用者数の増加に伴う収入の増加により、収支比率が107.76%となり、S評価となった。

◆苦情・要望等
施設や設備の老朽化による故障等に関する要望など、指定管理者に起因しない要望が多数寄せられたが、職員による点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、適切な対応に努めている。

◆事故・不祥事等
職員による施設の日常点検を実施するなど適切な施設運営に努めている。

◆労働環境の確保に係る取組状況
労働基準監督署からの指摘事項はない。

◆その他
令和4年度の3項目評価については新型コロナウイルス感染症対策の影響により、利用状況がC評価となったため、B評価とした。今後は、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、相模湖公園とより充実させた連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実・強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。

3. 3項目評価の結果

| B | 3項目評価 (施設別) | | 利用状況 (項目6参照) | 利用者の 満足度 (項目7参照) | 収支状況 (項目8参照) | 3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。 S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 |
|---|----------------|---|-----------------|------------------------|-----------------|--|
| | <参考> 相模湖公園 | B | C | A | A | |
| | <参考> 相模湖漕艇場 | B | C | S | S | |

【相模湖公園】

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

| | | |
|---------------------------------|--------------|---|
| 月例業務報告 確認 | 遅滞・特記事項があった月 | 特記事項または遅滞があった場合はその理由 |
| | 無 | |
| 現地調査等 の実施状況 | 実施頻度 | 現地調査等の内容 |
| | 毎月実施 | 指定管理者から提出された書類の記載内容と現地 の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が 履行されていることを確認した。 |
| 意見交換等 の実施状況 | 実施頻度 | 意見交換等の内容 |
| | 毎月実施 | 施設管理等における課題の共有、対策に向けた県 との役割分担の確認など、随時意見交換等を実施 した。 |
| 随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無 | 有 | 指導・改善勧告等の内容 |
| | 無 | |

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 | 実施状況に関わるコメント |
|--|---|---|
| 4月に「相模湖やまなみ祭」 のイベントを実施。相模湖や まなみ祭実行委員会と連携 し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は6,000人 | 新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止とした。 | 新型コロナウイルス の感染が収束した後 には、地域に根ざし たイベント企画を実 施し、利用促進を 図ってほしい。 |
| 6月下旬から7月上旬に七夕 の飾り付けイベントを実施。 相模湖観光協会と連携し、利 用者数の向上を図る。 計画参加者数は600人 | 6月25日～7月7日で七夕の 飾り付けを実施。近隣の養護 学校及び保育園3園の児童や 来園者が、園内に設置した竹 に、願い事が書かれた短冊の 飾り付けをした。参加者数は 約420人であった。 | 新型コロナウイルス の感染対策を講じな がら、多くの児童、 来園者に飾り付けを していただいた。天 候が良くない日が多 かったものの、昨年 度を上回る参加者数 となった。 |
| 8月に「さがみ湖湖上花火大 会」のイベントを実施。相模 湖観光協会と連携し、利用者 数の向上を図る。 計画参加者数は40,000人 | 新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止とした。 | 新型コロナウイルス の感染が収束した後 には、地域に根ざし たイベント企画を実 施し、利用促進を 図ってほしい。 |
| 10月にふれあい広場のイベン トを実施。相模湖商工会と連 携し、利用者数の向上を図 る。 計画参加者数は3,000人 | 10月2日にふれあい広場のイ ベントを実施。湖での足漕ぎ スワン大会、キッチンカーの 出店などで賑わった。参加者 数は約500人であった。 | 新型コロナウイルス の感染拡大防止のた め、規模を縮小して 開催したことから、 参加者数は計画に比 べて少なかったもの の、地元や漕艇場と 協力した今後を活か せる取り組みであっ た。 |

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 | 実施状況に関わるコメント |
|--|---|--|
| 12月に「相模湖公園イルミネーション」のイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。計画参加者数は3,000人 | 12月1日～12月30日で相模湖公園イルミネーションを実施。前年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、相模湖駅前でのイベント、湖畔商店会による飲食提供等はなく、飾り付けのみとなった。参加者は約840人。 | 近隣に人気のある民間施設があることに加え、イベントが実施できなかったことから、計画参加人数には及ばなかった。 |

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 |
|-----------|-------|
| | |

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

| | |
|----|---|
| 評価 | ≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。 |
| C | |

| | 前々年度 | 前年度 | 令和4年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者数※ | 95,742 | 110,726 | 91,387 |
| 対前年度比 | | 115.7% | 82.5% |
| 目標値 | 160,000 | 160,000 | 163,000 |
| 目標達成率 | 59.8% | 69.2% | 56.1% |

目標値の設定根拠： 提案書記載の目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度までに引き続き、「やまなみ祭」、「さがみ湖湖上祭花火大会」などの大規模イベントを中止したことに加え、これまで行動制限等の中においても近隣で楽しめる場所として来園していた方々が、感染状況が落ち着いてきたことで遠出の旅行が可能となったため、公園の利用者が減少したものとみられる。

②令和4年度の対応状況

マスク着用、手指アルコール消毒、体温測定などの感染症対策を講じた上で、盆踊りやハロウィンなど、地域住民を対象とした小規模なイベントを企画し、利用促進に努めた。

7. 利用者の満足度

| | |
|----|---|
| 評価 | ≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。 |
| A | |

| 満足度調査の実施内容 | 協定に定めた調査内容 | 実施結果と分析 |
|------------|----------------------------------|---|
| | 指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施 | 本報告書では、年2回の詳細アンケートを使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から概ね満足との評価を得ている。 |

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 216 / 240 = 90.0%

配布(サンプル)対象

| | 満足 | どちらか といえば 満足 | どちらで もない | どちらか といえば 不満 | 不満 | 合計 | 満足、不満に回答があった場合はその理由 |
|------------------|-------|--------------------|-------------|--------------------|------|-----|---------------------|
| サービス内容の総合的評価の回答数 | 74 | 104 | 36 | 2 | 0 | 216 | |
| 回答率 | 34.3% | 48.1% | 16.7% | 0.9% | 0.0% | | |
| 前年度の回答数 | 64 | 13 | 0 | 4 | 0 | 81 | |
| 前年度回答率 | 79.0% | 16.0% | 0.0% | 4.9% | 0.0% | | |
| 回答率の対前年度比 | 43.4% | 300.0% | | 18.8% | | | |

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

| | |
|----|---|
| 評価 | ≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満 |
| A | |

[指定管理業務]

(単位：千円)

| | | 収入の状況 | | | | | 支出の状況 | 収支の状況 | |
|-------|------|--------|------|--------|----------------|--------|--------|-------|---------|
| | | 指定管理料 | 利用料金 | その他収入 | その他収入 の主な内訳 | 収入合計 | 支出 | 収支差額 | 収支比率 |
| 前々年度 | 当初予算 | 39,068 | 0 | 12,700 | 駐車場 12,700 | 51,768 | 51,768 | 0 | |
| | 決算 | 39,956 | 0 | 12,339 | 駐車場 12,339 | 52,295 | 50,787 | 1,508 | 102.97% |
| 前年度 | 当初予算 | 39,068 | 0 | 12,700 | 駐車場 12,700 | 51,768 | 51,768 | 0 | |
| | 決算 | 39,068 | 0 | 14,010 | 駐車場 14,010 | 53,078 | 51,193 | 1,885 | 103.68% |
| 令和4年度 | 当初予算 | 42,000 | 0 | 11,500 | 駐車場 11,500 | 53,500 | 53,500 | 0 | |
| | 決算 | 42,000 | 0 | 11,816 | 駐車場 11,816 | 53,816 | 53,224 | 592 | 101.11% |

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

| 分野 | 報告件数 | 概要 | 対応状況 |
|-------|---------|---|--|
| 施設・設備 | 件 | | |
| 職員対応 | 電話 1 件 | ①湖で投げ釣りをしている者がおり、子供にあたってケガをした。釣りを禁止してほしい。 ②湖側の立入禁止看板が設置されている中に入って釣りをしている者がいるが、問題はないのか。 | ①釣りは禁止されていないことから、巡回している職員が、釣りをしている利用者に周囲に気を付けるよう声掛けし、周知を図った。 ②職員の巡視の際にそのような行為が見られた場合には、声掛けをして注意することとした。 |
| | メール 1 件 | | |
| 事業内容 | 件 | | |
| その他 | 件 | | |

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

| | |
|-----|---|
| 発生日 | ①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入） |
| | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ |

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

| 確認項目 | 指摘事項の有無 | 備考 |
|-----------|---------|----|
| 法令に基づく手続き | 無 | |
| 職員の配置体制 | 無 | |
| 労働時間 | 無 | |
| 職場環境 | 無 | |

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

【相模湖漕艇場】

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

| | | |
|---------------------------------|--|---|
| 月例業務報告 確認 | 遅滞・特記事項があった月 | 特記事項または遅滞があった場合はその理由 |
| | 該当なし | |
| 現地調査等 の実施状況 | 実施頻度 | 現地調査等の内容 |
| | 毎月実施 | 県発注工事の監督業務等にあわせて追加で現場確認を実施し、問題意識を共有している。 |
| 意見交換等 の実施状況 | 実施頻度 | 意見交換等の内容 |
| | 毎月実施 | 毎月の現地確認のほか、電話やメール等により、担当者レベルでの打合せを実施し、施設の管理運営に係る情報共有を行った。 |
| 随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無 | 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> | 指導・改善勧告等の内容 |
| | | |

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 | 実施状況に関わるコメント |
|-------------------------|--|---|
| 指定管理業務に当たったの考え方・運営方針等 | 相模湖公園との一体的な管理運営により、協力体制がとれ、湖岸・スロープの清掃作業、イベント等で職員同士が連携できた。また、利用者や観光客、関係団体に対する心配りが図られた。 | 引き続き、相模湖公園と必要な連携を取りながら、利用しやすい施設となるようにしていきたい。 |
| 施設の維持管理 | 経年劣化している箇所がほとんどだが、職員が修繕できる箇所（施設・競技用ボート等）は随時行い、経費節減と利用環境の改善を図った。ボート用シューズ等の更新や、機械警備機器設置等の小規模修繕を実施した。 | 積極的に修繕を実施しており、引き続き、利用環境の改善に努めていきたい。 |
| 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金 | ボート体験教室を3回開催し、相模原市内の中学生64名が参加した。パラローイング委員会による強化合宿や「障がい者向け乗艇体験会」に協力した。また、「バーチャルインドアローイング大会」のエルゴマシンの利用に協力した。 | 障がい者を含む、施設の利用促進のため、様々な企画を実施しており、引き続き実施してもらいたい。 |
| 事故防止等安全管理 | 作成した各種マニュアルに基づいて、利用者の安全対策を図った。また、乗艇者には必ずトランシーバー等を携帯させた。さらに、防犯カメラを設置し、監視による犯罪防止に努めた。 | 引き続き様々な安全管理対策を取ることで、利用者が安心して施設を利用できるように管理していただきたい。 |
| 地域と連携した魅力ある施設づくり | 公共施設として、学校、スポーツ協会や公園の事業に貢献した。また、相模湖商工会による「足こぎスワン世界大会」のコースや浮き桟橋の設置等に協力した。 | 地域のイベント等にも協力することで、魅力ある施設となるようにしていきたい。引き続き、連携に努めていきたい。 |

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

| 事業計画の主な内容 | 実施状況等 |
|--|--|
| 県民を対象とするボート教室の開催（県民相互の交流促進及び健康保持を図り、ボート競技の普及に資することを目的とする。） | 相模原市内の中学生を対象としたボート体験教室を3回開催し、64名が参加した。 |

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

| 評価 | 《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。 |
|----|---|
| C | |

| | 前々年度 | 前年度 | 令和4年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 利用者数※ | 6,157 | 9,583 | 12,948 |
| 対前年度比 | | 155.6% | 135.1% |
| 目標値 | 19,000 | 19,000 | 20,000 |
| 目標達成率 | 32.4% | 50.4% | 64.7% |

目標値の設定根拠： ボート競技人口の増減や隔年毎の大会開催の有無を考慮して設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書及び艇庫利用者

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
利用者数は前年度から3,365人増加したものの、令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策の影響により、目標達成率は約64%に留まった。

②令和4年度の対応状況
利用者の当日検温を実施し、設備・用具の利用に定員を設ける等、施設の利用ガイドラインに基づいて基本的な感染症対策を行った。

7. 利用者の満足度

| | |
|----|---|
| 評価 | 《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う。 |
| S | |

| | | |
|------------|--------------|---|
| 満足度調査の実施内容 | 協定に定めた調査内容 | 実施結果と分析 |
| | 年2回を7・10月に調査 | 概ね「満足」又は「やや満足」という結果であったが、施設・設備の状態や利便施設の設置状況については、「やや不満」とする声が多かった。 |

[サービス内容の総合評価]

質問内容 施設管理に対するサービスの満足度について、該当する印象に○を付けてください。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 196 / 200 = 98.0%

配布(サンプル)対象 令和4年7月、10月の施設利用者

| | 満足 | どちらか といえば 満足 | どちらか といえば 不満 | 不満 | 合計 | 満足、不満に回答が あった場合はその理由 |
|---------------------|-------|--------------------|--------------------|------|-----|------------------------------------|
| サービス内容の総合 評価の回答数 | 126 | 64 | 5 | 1 | 196 | 施設の開館時間の設定、 職員の対応等が評価され たため。 |
| 回答率 | 64.3% | 32.7% | 2.6% | 0.5% | | |
| 前年度の 回答数 | 73 | 21 | 0 | 0 | 94 | |
| 前年度回答率 | 77.7% | 22.3% | 0.0% | 0.0% | | |
| 回答率の 対前年度比 | 83% | 146% | | | | |

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年1回の実施となった。

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

| | |
|----|--|
| 評価 | ≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満 |
| S | |

[指定管理業務]

(単位：千円)

| | | 収入の状況 | | | | | 支出の状況 | 収支の状況 | |
|-----------------------|----------|--------|-------|-------|----------------|--------|--------|-------|---------|
| | | 指定管理料 | 利用料金 | その他収入 | その他収入 の主な内訳 | 収入合計 | 支出 | 収支差額 | 収支比率 |
| 前々 年度 | 当初 予算 | 18,982 | 1,365 | 0 | 0 | 20,347 | 20,347 | 0 | |
| | 決算 | 19,305 | 2,363 | 0 | 0 | 21,668 | 20,351 | 1,317 | 106.47% |
| 前 年度 | 当初 予算 | 17,776 | 2,571 | 0 | 0 | 20,347 | 20,347 | 0 | |
| | 決算 | 18,678 | 3,211 | 0 | 0 | 21,889 | 20,242 | 1,647 | 108.14% |
| 令 和 4 年 度 | 当初 予算 | 18,639 | 2,604 | 0 | 0 | 21,243 | 21,243 | 0 | |
| | 決算 | 18,639 | 3,911 | 50 | 自販機 電気代 | 22,600 | 20,972 | 1,628 | 107.76% |

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

| 分野 | 報告件数 | 概要 | 対応状況 |
|-------|------|----|------|
| 施設・設備 | 件 | | |
| | 件 | | |
| 職員対応 | 件 | | |
| | 件 | | |
| 事業内容 | 件 | | |
| | 件 | | |
| その他 | 件 | | |
| | 件 | | |

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

| | |
|-----|---|
| 発生日 | ①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入） |
| | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ |

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

| 確認項目 | 指摘事項の有無 | 備考 |
|-----------|---------|----|
| 法令に基づく手続き | 無 | |
| 職員の配置体制 | 無 | |
| 労働時間 | 無 | |
| 職場環境 | 無 | |

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。